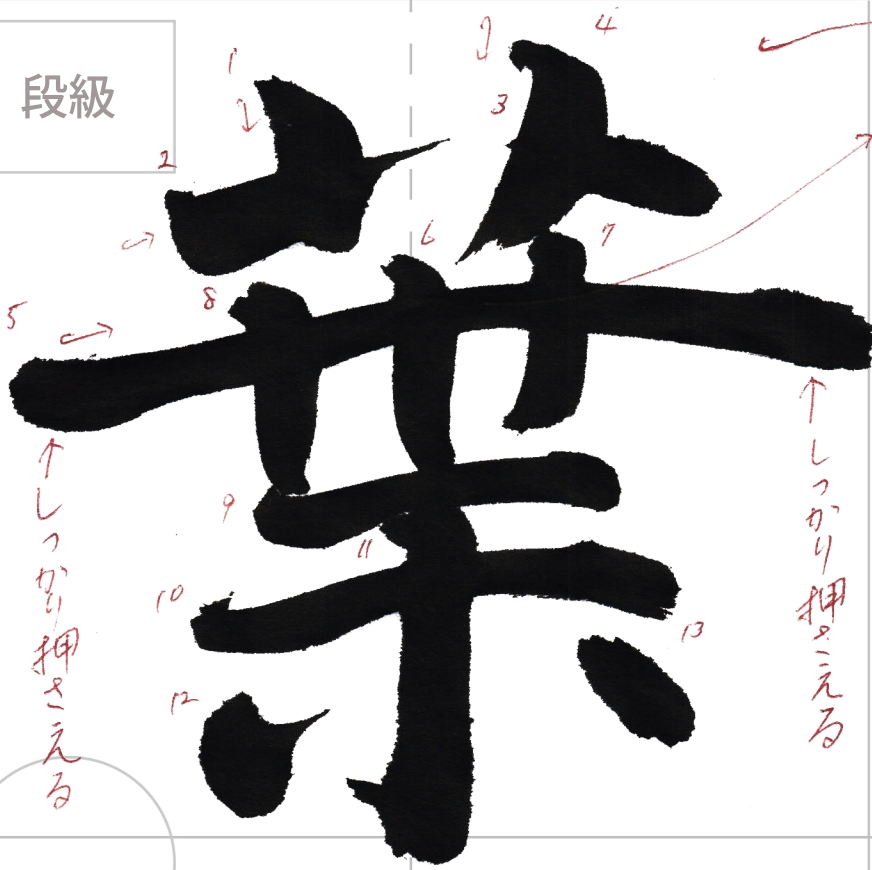
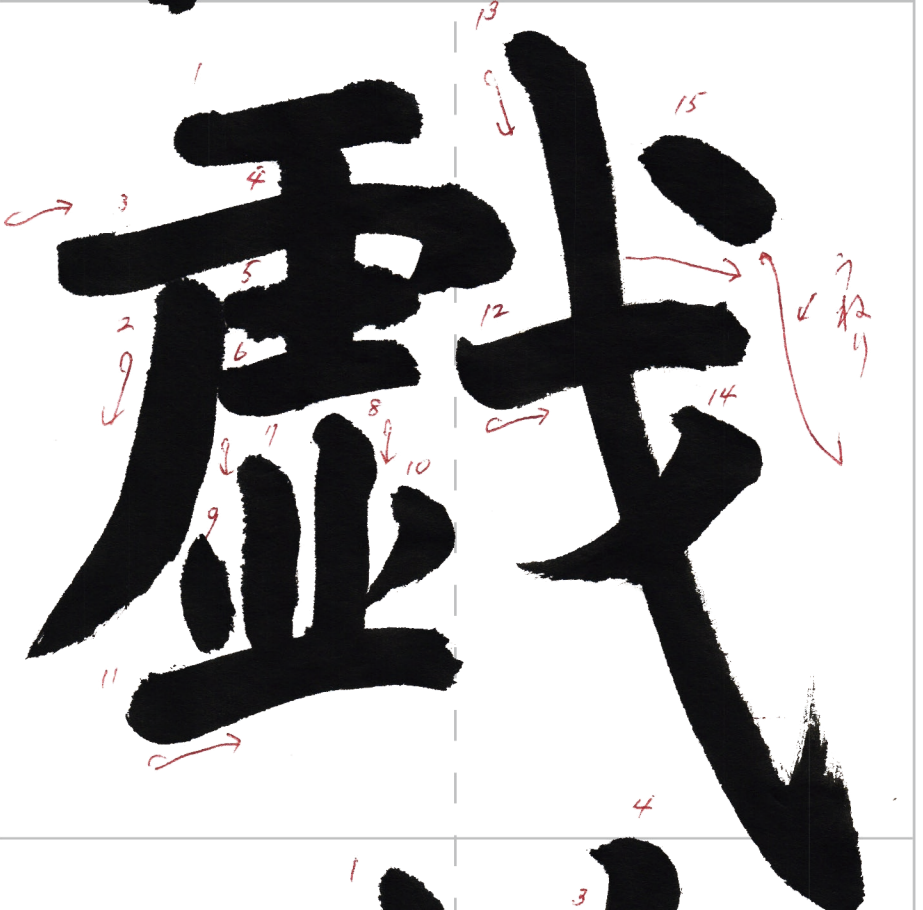


段級



☆一画一画、蔵録で書きます



うねり



抑揚を入れる

雁塔聖教序・唐時代、褚遂良の
 倣書で書いています。
 書は行書の筆意を帯びた楷書。
 点画の間は軽妙な細い線で、
 ゆったりとされていて、粘り、抑揚がある。

うお たわぶ れんよう かん
 魚は戯る蓮葉の間
 (古樂府の詩)

